令和７年度　第１回　部活動の地域移行のあり方検討委員会　議事要旨

令和７年６月 20 日（金）15：30
神戸市総合教育センター701 号室

１．事務局説明

・教育長会見で第２次募集を発表し、その際に第１次募集の活動場所について結果を発表した。
・１つの学校に原則として、同一の種目・活動が重複しないように団体にも相談しながら「学校施設利用状況」資料でまとめた
・既存の部活動と現時点で確保できている種目が可視化できるように、「部活動種目登録状況一覧」資料で整理した。
・指導者と団体とを引き合わす人材バンクを設置した。
・シンコースポーツに委託し、団体の立ち上げや運営支援を行う事務局を設置した。
・オンライン研修、テストも受けてもらうシステム構築を進めている。

２．各委員による意見交換

（委員）今年の１年生の子どもや保護者に対して、入学してからどんな風な説明をされたのか、入部状況について教えてほしい。
（委員）例年通り、自校での部活動を選んだ生徒が多かった。小学校６年生に入学説明会で説明した。須磨区の南エリアに位置している３校で、地域展開がスムーズにできるように、校長間で相談し、自学校以外も選べるということにしたが、実際はあまりいなかった。保護者からは門戸が広がり一定の評価はあった。
（事務局）今年度の入部率は 84%。前年度比１～２％マイナス。地域移行も予定の中で少し減ると思った。
（委員）資料をじっくり見ないとどこの学校に何の種目が足りないかが分からない。分かるような広報になっているのか疑問である。丁寧さに欠けていると感じる。
→（事務局）資料は見比べながら把握していただく必要はあるが、我々としては WEB サイトだけで広報するつもりはない。個別に種目の団体に説明をしに行くなど、丁寧に広報を行っていく。
（委員）指導者は研修を受けると思うが、何かあった時の対処について学校や教育委員会の対応を教えてほしい。
→（事務局）日々の対応はクラブ側だが、いじめなど重大な事案があれば教育委員会へも共有してもらう。
（委員）練習場所や楽器のことなどハードルがある中でこんなに団体が集まったのはすごいと思う。

ハードルを低くしてより参入しやすいようになれば良いと思う。現場の意見を聞きたい。

（委員）７月頃に部活を引退してから、コベカツ開始までに空白が生まれるので、子供たちの活動をどうサポートするのかが気になっている。経済的な視点も懸念している。徒歩であれば良いが、電車やバスなど費用がかかる活動場所に行きたい場合、バスの定期を通学定期で買えるのかなど、聞かせてほしい。

→（事務局）部活動引退で、生徒のモチベーションが下がるという点だが、空白の期間は体験会を実施することを考えている。部活動と並行して学校で体験会を行うのは難しいこともあり、コベカツクラブへの移行をスムーズに進められるように、校長会とも調整しながら進めたい。

（事務局）バス代等の市負担は想定してない。在籍校や近隣校で選択肢を増やしていきたいと考えており、地域団体などに働きかけている。

（委員）文化系団体が少なく、学校以外での活動が多いのかと思う。既存の部活動からコベカツの活動となるとより活動内容が細分化されてしまう。

→（事務局）文化芸術団体への説明会では、アプローチしにくい団体に集まっていただき、説明できたと思う。今後も、団体の情報収集や発信など文化振興財団に協力いただきたい。

（委員）簡易照明の設置はもう始まっているのか？

→（事務局）今年度 22 校設置する予定。来年度も予算を確保し進める予定。

（委員）子供たちが放課後の過ごし方について、自分で１週間をデザインすることができ、学校の教育課題としては大事なことだと思う。